

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水・5	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 I (German I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) P19	科目分類 外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:小川保博 /Eメールアドレス:ogawa_yasuhiro@nias.ac.jp / 勤務校:長崎総合科学大学 /TEL:(095)838-4589 /オフィスアワー:水 17:40~18:00 非常勤控え室			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい ドイツ語の発音と文法の基礎をしっかりと身につけ、コミュニケーションのための表現力と基礎的な読解力を養成し、自ら学習する際に立ち返れる「礎」を築くことが目的です。また、外国語を学ぶことで、異文化理解への道筋を会得できれば、と考えています。 授業方法: 読み・書き・聴き・話すことを演習形式で繰り返し、基本文例とその応用練習も含め、音読を重視します。時間が限られているため、自宅学習用プリントをその都度課していきます。 授業到達目標: 全授業終了時の到達目標の目安として、「ドイツ語検定試験(独検)」5級を想定しています。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 基本的には教科書の流れに沿って講義を進めていきます。教科書は各課「Grammatik」、「型で覚えよう・練習問題」、「Landeskunde」、「独検定ミニチャレンジ」、「Lesetext からなっています。ドイツ語 I で学習する文法項目は、 1. 綴りと発音, 人称代名詞, 動詞の現在人称変化(規則変化), 定動詞の位地, sein の現在人称変化 2. 名詞の性/定冠詞と不定冠詞, 名詞の格変化, haben と werden の現在人称変化 3. 名詞の複数形と格変化/男性弱変化名詞, 動詞の現在人称変化(不規則変化) 4. 人称代名詞の3格と4格, 疑問代名詞, 前置詞の格支配(1), 前置詞の格支配(2) 5. 定冠詞類(dieser型), 不定冠詞類(mein型), 否定冠詞keinとnicht, 否定疑問文への答え方 6. 分離動詞, 非分離動詞, 従属接続詞と副文 で、各項目に二回ないし三回の講義をあて、定期試験を含め15回の講義でドイツ語 I の学習を終える予定です。また、時間が許せるかぎり、折にふれ、さまざまなドイツ事情についても紹介していきます。			
キーワード	ドイツ語の発音、文法の基礎、表現力、読解力、異文化理解		
教科書・教材・参考書	荻野/Raab 著:「ドイツ文法 型から型へ」(朝日出版社) 参考書:独和辞典		
成績評価の方法・基準等	定期試験、出欠状況、授業への取り組み方などによって総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			